

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2017-227435(P2017-227435A)
 【公開日】平成29年12月28日(2017.12.28)
 【年通号数】公開・登録公報2017-050
 【出願番号】特願2017-153200(P2017-153200)
 【国際特許分類】

F 2 5 D 23/00 (2006.01)

B 0 5 B 5/057 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/00 3 0 2 E

F 2 5 D 23/00 3 0 2 M

B 0 5 B 5/057

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月7日(2018.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

冷蔵温度帯の貯蔵室である冷蔵室および野菜室を有する冷蔵庫において、ミストを放出するミスト放出部と、前記ミスト放出部に負の電圧を印加する電源装置とを有する静電霧化装置と、前記ミスト放出部から放出したミストを放出するミスト放出口と、ミストが通過する多数の孔を有して前記ミスト放出部を覆うように設けられた放出部カバーと、

前記ミスト放出部に給水するための冷却部と、を備え、前記冷却部は、冷却されることで結露水を発生させ、前記ミスト放出部は、結露させた水をミストとして放出し、その放出したミストを前記放出部カバーの孔および前記ミスト放出口を通して前記冷蔵室および前記野菜室に供給する冷蔵庫。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明の目的は、静電霧化装置への給水を自動化でき、使用者が静電霧化装置へ給水する手間を極力省くことができる冷蔵庫を提供することにある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、冷蔵温度帯の貯蔵室である冷蔵室および野菜室を有する冷蔵庫において、ミ

ストを放出するミスト放出部と、前記ミスト放出部に負の電圧を印加する電源装置とを有する静電霧化装置と、前記ミスト放出部から放出したミストを放出するミスト放出口と、ミストが通過する多数の孔を有して前記ミスト放出部を覆うように設けられた放出部カバーと、前記ミスト放出部に給水するための冷却部と、を備え、前記冷却部は、冷却されることで結露水を発生させ、前記ミスト放出部は、結露させた水をミストとして放出し、その放出したミストを前記放出部カバーの孔および前記ミスト放出口を通して前記冷蔵室および前記野菜室に供給することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】